



予算決算委員会

Pickup
2

予算決算委員会がスタートしました

今回の定例会から予算決算委員会の運用が始まりました。予算決算委員会は全議員で構成していますが、議案の審査は、専門性・効率性を考慮し、行政組織別の常任委員会(総務・民生文教・建設経済)単位で構成する3つの分科会で行うことを基本としています。

今回の定例会では、補正予算に関する議案について分科会に分かれて質疑をした後、全体会でその内容を報告し、採決を行いました。



総務分科会

令和7年度袋井市一般会計補正予算(第1号)
〔防災費〕

問

市の指定避難所62カ所に1基ずつ新しく配備する予定のトイレと既存のトイレで相違点が発生すると思う。既存のトイレも併用することになると思うが、使い方の周知と併用の仕方はどのように考えているか。

答

今回、新たに避難所に配備するトイレには手すりがついており、高齢の方などが、手すりを持って便座に座ることができると。国のガイドラインなどに基づき、使い捨ての携帯トイレを既存のトイレで使用することも想定しており、地域の皆さまと意見交換しながら、災害時のトイレの使い方などの周知を進めていく。

民生文教分科会

令和7年度袋井市一般会計補正予算(第1号)
〔雑入〕

問

今回の補正は国の物価高騰対応重点支援地方交付金を活用して給食費の負担軽減を図るものだが、今後も物価高騰による保護者負担の増加が見込まれる中で、市独自で財源を確保して支援を継続する方針はあるか。また、国に対して交付金の継続的な実施や自治体裁量の拡大を要望している考えはあるか。

答

今回の交付金は今年度限りということであり、来年度も引き続き交付金制度が存続するかの見通しは立っていない。今後、物価上昇となれば、給食費の値上げを行い保護者にご負担をお願いする方針である。また、保護者負担軽減については国の財政支援を求めるよう全国市長会から要望している状況である。

建設経済分科会

令和7年度袋井市一般会計補正予算(第1号)
〔商工総務費〕

問

ふくろい応援商品券第5弾の成果と課題は、今回の事業(第6弾)にどのように反映されたのか。また、静岡市や浜松市では民間のキャッシュレス決済を活用して商品券販売を計画しているが、本市ではどうするのか。

答

第5弾では、購入者数が過去最多の17730人で、約5万冊を販売し、約6億円の消費につながった。取扱店舗を対象にしたアンケート調査では、約7割の店舗が売り上げに貢献があったと回答し、地域経済の下支えとして、効果があったものと考えている。課題については、商工会議所などとの意見交換の中で、商品券購入限度冊数や販売期間の設定などが挙げられたため、今回の事業でそれぞれ対応していく。また、キャッシュレス決済については、近年の手数料の値上がりや、昨年度行った産業実態分析調査において、キャッシュレス決済実施店舗が約50%であったことに加え、高齢者など幅広い世代の方々に利用をしてもらいたいとの思いから今回の事業も紙の商品券で行うこととした。